

「自助・共助について」 まちづくりの会の意見

- 意見を求めた結果、自助・共助の活動において近所付き合いを強めるきっかけとなる「イベントの開催」というテーマに対する意見が多く寄せられました。これから、近所同士の結束を強めるためにどのような活動をしていけばよいか検討を進めていきます。

今回のテーマに関する トピックス

本ニュースで話題になっている「イベントの開催」とはどのようなものか実際のイベントの事例をご紹介します！

簡単料理あらかると&非常災害時料理講習会

手間がかからず、家庭に常備されている食材を用いることに重点を置き、ライフラインが不十分でも調理できる方法を合わせてメニューを考案した。また、各地で講習会を開き、調理実演を通していざという時の調理方法や栄養管理の知識普及や情報発信を行っている。

～富山県栄養士会・地域活動栄養士協議会～



出典：消防防災博物館ホームページ

早くこのようなイベントが開催できるようにしたいですね

2 今後の活動予定

新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立っておりませんが、防災まちづくりの会では、安全に活動するための対策を講じた新たな会の開催の形を模索し、巣鴨五丁目地区におけるまちづくりの活動を続けていきます。

3 会員(委員)を募集しています

防災まちづくりの会では、現在、防災のソフト面(自助・共助)の活動について、「イベントの開催」を検討テーマに活動中です。巣鴨五丁目の防災上の課題解決策や、より良い住環境の形成について、一緒に検討してみませんか？

参加すると、知らないことをたくさん知れて楽しいですよ！

本会に参加を希望される方は、下記の事務局までご連絡ください。



●事務局●



TOSHIMA CITY

豊島区 都市整備部 地域まちづくり課 沿道推進グループ
TEL：03-3981-3449 FAX：03-3980-5135
メール：A0022706@city.toshima.lg.jp

株式会社 双葉 地理空間情報部
TEL：03-3953-3249 FAX：03-3953-3289

巣鴨五丁目地区防災まちづくりの会

第6号

まちづくりニュース

令和3年3月発行

1 防災まちづくりの会の活動は 書面方式で続けています！

■今年度の経過と今後の防災まちづくりの会の開催

令和2年11月、新型コロナウイルス感染拡大防止のため第10回巣鴨五丁目地区防災まちづくりの会を「書面方式」で開催しました。

それから年が明けてもまだ新型コロナウイルスの脅威は続いており、令和3年1月7日には2度目の緊急事態宣言が発出されました。

防災まちづくりの会は、今後の社会状況を踏まえて安全かつ意見交換が捗る開催方法も検討し、まちづくりの活動を続けていきます。

また、来年度は引き続き「防災のソフト面(自助・共助)」について検討を進めてまいります。

第10回防災まちづくりの会で設定した3つの検討テーマ(第10回の内容は2、3ページを参照)に関して意見の多かったテーマから順に、他地区の事例等を参考に議論を深めていきます。

■返送いただいた意見記入シート



このように意見を
いただきました。

■豊島区からのお知らせ

不燃化特区における助成制度について

巣鴨五丁目地区の不燃化を促進するために、地区内では老朽建築物の建替えや除却に要する費用の一部を助成しています。この制度は令和2年度までの期間限定で運用していましたが、令和3年度以降も制度を一部変更し継続する予定です。

また、不燃化特区の助成を受けるためには、老朽建築物を取り壊す前に区に申請し、承認を受ける必要があります。建替え、除却をご検討の方は、お早めに区までご相談ください。

連絡先 豊島区 地域まちづくり課 電話：03-3981-1464

「書面方式の開催」について

1. 「書面方式」で行う、まちづくりの会の方法

第10回防災まちづくりの会では、従来の委員が集まって会議する「集会方式」ではなく、検討テーマに関する意見交換を書面上で行いました。

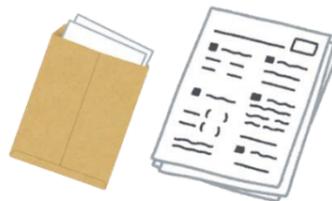
以下では、第10回防災まちづくりの会の開催手順を紹介します。

Step 1. 第10回防災まちづくりの会開催に向けた「役員会」の開催

- ・コロナ禍における本会の進め方について協議
- ・これまでの振り返りと、防災・減災に関する「ソフト面」の課題や具体的な検討テーマについての確認
- ・テーマ関連資料や「意見記入シート」など郵送物の確認など



Step 2. 検討テーマ関連資料と「意見記入シート」の発送



Step 3. 検討テーマ関連資料を参考に、「意見記入シート」にお考えやご意見の記入



Step 4. 「意見記入シート」を返信用封筒に入れ、郵便ポストへ投函



Step 5. 「返信資料：会員意見のまとめ」の内容確認（役員へ、メール又は郵送などによりご了解を頂いたうえで郵送）



Step 6. 「返信資料：会員意見のまとめ」を全委員へ周知
※第10回防災まちづくりの会の終了



2. 「防災のソフト面（自助・共助）」の検討内容

①「自助・共助」とは

実際に災害が起きた時に、できるだけ被害を少なくするには、事前に防災対策を立てておくなければなりません。防災を考えるうえで、必要な三要素として「自助」「共助」「公助」があります。災害による被害を少なくするためには、この三つの連携が重要です。

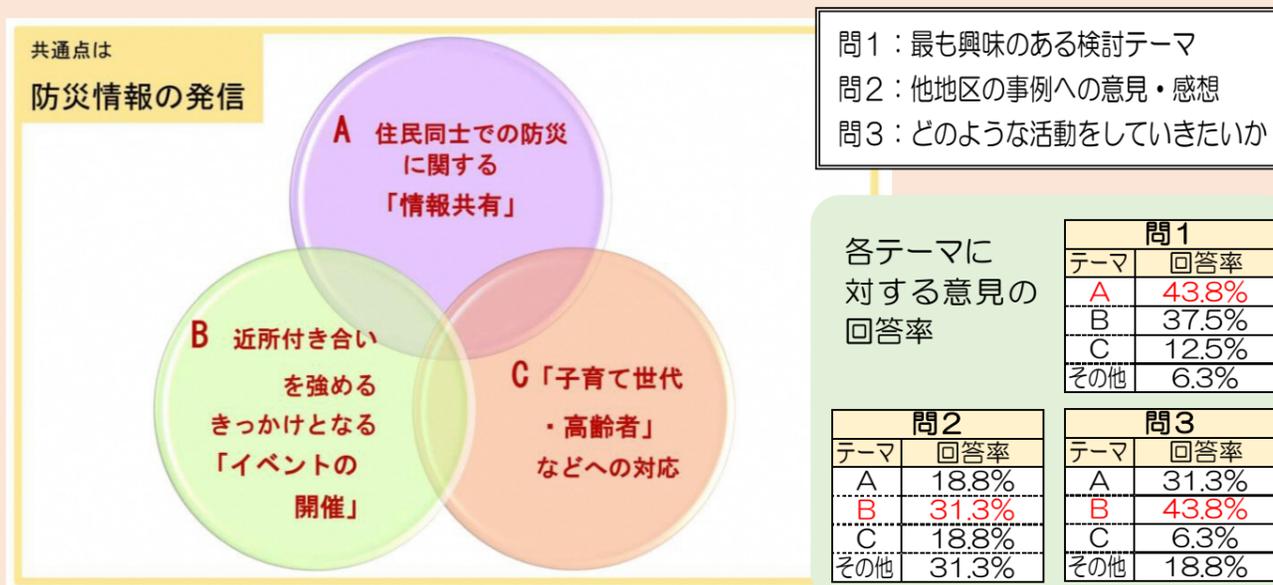


②本会で意見交換する具体的な検討テーマについて

本会では、巣鴨五丁目地区において「住民への防災に関する情報提供」「災害に備えて近所付き合いを強める必要がある」「子育て世代・高齢者などへの気配りが必要」という自助・共助に関するまちづくりの課題が挙がっています。

第10回防災まちづくりの会では、これらの課題をもとに作成した以下3つの具体的な検討テーマについて意見を求めました。

来年度は、より回答の多かった意見のテーマから順に検討を進めていきます。



●テーマ「B」の意見が多い結果となりました。